平成 26 年度第 2 回金沢市景観審議会
日時：平成 26 年 11 月 11 日（火）14:00～
会場：金沢市庁舎 4 階　全員協議会室
1　開会
2　都市整備局長挨拶
3　議事
(1)平成 26 年度上期　専門部会審議結果（報告）
（以下スライド併用）

①建物部会
～ 事務局より説明 ～
平成 26 年度上期建物部会
開催回数：４回
審議案件：８件（延べ 12 件）
※伝統環境保存区域：2 件、近代的都市景観創出区域：6 件
のうち抜粋して報告
・長町 1 丁目地内の病院改築計画
・金沢大学附属病院外構計画
・片町 2 丁目の市街地再開発事業
・広岡 1 丁目地内の店舗新築計画

（会　長）
若干補足する。
先ず長町地区の病院の建て替えであるが、既存建物の高さがかなりあり、既存不適格であった。既存は大野庄用水側に高い部分があったのを本計画では後ろに下げたり、周辺に対する圧迫感を和らげる努力をしていただいた。また色彩についても、長町は伝統的なエリアであり、色のトーンも茶色系を基調とするように努力していただいた経緯がある。その他、今後付属建築物が出てくるので、その辺についての調整が必要であると思っている。
二つ目の金沢大学附属病院の外構であるが、金沢大学附属病院については、過去何度も協議を繰り返しており、全体計画については全体の色を統一していただく、それから、小立野の大通り側の外部に面して敷地内で歩行者空間を確保していただくなどの協力を頂いた。今回は外構に絡んだ駐車場への人の誘導のためのキャノピーが審議事項であったが、これについては全体に色を合わせていただくよう努めていただき、今後こういうものが出るときも、全体の色の統一を図るようにという要望は出している。
三つ目の片町のラブロ跡地の再開発事業であるが、これは非常に重要な場所で再開発が行われるということで、何度も議論を繰り返してきた。先ほどの説明にもあったように商業施設であり、テナントの要望も多く、そういう意味ではかなり調整に苦労するところも

あった。上層階にはブライダル施設が入る予定であるが、具象的な教会風のシルエットが出てきたりして、少し抽象的な形態にできないかということで協力をしていただいた。また１～３階の店舗が入ってくる部分は、現在もバスの寄り付きがあるが、さらに広場的な空間等を多く設けてもらって､完成したときには現在よりもかなりゆとりのある足元部分、広場スペース等が確保できると思われる。背面は木倉町の街並みが隣接している。規模の小さい建築物が多いということで、この建物の背面側については、当初大きな壁面となる計画であったが、できるだけ建物の中を通り抜けできるように配慮すること、1 階部分については極力ガラス面を多くし、賑わいを創出できるようにすること、またできるだけ細分化した単位のつながりができるように努めることで協力していただいている。

四つ目は駅西の広場に面した部分であるが、この辺は現在、新幹線の開業に合わせていろいろな事業が動いている。その中で外部資本も入ってきており、その辺に対する説明が大変な部分もある。広場に面したところで建物の高さもある程度あった方が望ましい場所であり、その辺についての調整も図ってきたが、施設内容から難しい部分があった。

また、タワーパーキング状の高い塔ができるが、これについては無造作なものにならないように、駅側と海側がガラスのつくりになっている。筒状のショーケースのように見えてくるということで、その辺は事業者側もかなり駅前広場ということを意識しながら進めていただいている。具体的な対応としては、最初、白黒のかなり強烈なファサードの色彩計画であったが、周りの建築物との関係もあって、もう少し白黒のコントラストを弱めて、グレー色に近づけてもらうという協力をしていただいた。

また、周辺は高い建物が建設される場所であり、見下ろされる事態が出てくるので、屋根面の取扱などについてはいろいろな形で要望している。その他、車のレンタルを前提にした施設なので、車の出入り口部分も無造作な裸の蛍光灯が出ないように照明の計画も調整していただきながら進めてきた。

また近年の特徴としては、新幹線が開業するということでかなりの事業が動いており、今、報告にもあったように、ここのところかなり多くの案件に対応しているという現状がある。

②用水みちすじ部会

～ 事務局より説明 ～

平成 26 年度上期用水みちすじ部会

開催回数：１回

審議案件：２件

・卯辰山麓地区における道路照明灯の改修について

・長町１丁目地内道路修景整備工事

（A委員）

簡単に補足をさせていただく。

１点目の卯辰山麓地区の道路照明の改修については、報告の中にもあったが、先日夜間に現地での確認も行った。まず、色が暖色系になって、夜間といえども木色の街並みに調和すると感じた。また、部会の中で灯具のスケール感を丁寧に検討し、随分スケールダウンしたものになっているということを現地でも確認した。個人的にはもっと小さくてもよいという気もしたが、必要な明るさを確保することも考え、このサイズで落ち着いた。

遮光板の話があったが、例えば沿道の家屋の 2 階の窓に対してまぶしくないようにという配慮から、横断方向の光を遮断できるよう計画されている。それについても現地の確認の中で、必ずしも杓子定規に適用するということではなく、開口部のない壁面で、むしろ少し照らした方が夜間景観の演出としてよろしいというところでは、そういうところも配慮して、場所に応じたこまやかな対応も検討しているということであり、非常によいことであると思っている。

また、短期間で替えるのではなく、緊急度の高いものから替えていくという計画である。大体こういうものはその時々の経緯があって、いろいろなものが混ざってしまうことが問題になるかと思われるが、今回は整備期間が少し長くなっても継続性を持った対応をしていく計画である。

2 件目については今ご報告いただいたとおりで、特に補足はない。

③寺社風景保全部会

～ 事務局より説明 ～

平成 26 年度上期寺社風景保全部会

開催回数：１回

審議案件：１件

・伝統的寺社建造物修復事業（宝円寺）

（Ｂ委員）

若干補足する。

山門等に関しては歴史的な史料が少ない場合が多く、この物件もそうである。実際、大火に遭って、同じ場所に再建されたようであるという推定の下に修理・修復を行ったということで、写真、史料もなかなか少ない状況で、実際に現地の解体、痕跡調査を進めながら、できる限り必要な部分は補強し、修復するという形で進めている。

（会　長）

それでは、この三つの部会からの報告について質問や意見があればお願いしたい

（Ｃ委員）

卯辰山山麓を拝見したが、これから新幹線開業も含め、金沢を散策してもらう人たちが増えるとすると、夜間においても、東山の茶屋街や武家屋敷の散策だけではなく、例えば、

東山の細い路地を散策するということがあってもよいと思う。
　そうすると、金沢は文学のまちなので、例えば、泉鏡花の暗さや明るさという世界、光の感覚などをイメージさせるような光のデザインがさりげなくあることも、大事なのではないかと思う。例えば、明治の終わりから大正、昭和にかけて活躍する徳田秋声や鏡花、あるいは、その他の文学関係者もいろいろな意味で金沢に浸っており、その時代の感覚というのは、先ほど出てきた明治のガス灯のような形ではないのではないか。極端な話であるが、電柱にアルミの傘が付いていて、裸電球が一つ付いているような感覚が、むしろ金沢のまち、特に裏小路と合っているのではないかと思う。そういうことも意識しながら照明計画を立てていくことも大切である。街並み保存や町家の再利用など、いろいろなことをしておられるので、それをもっと効果的にしていく必要があると思う。

（事務局）
　まさに今、委員からご指摘があった部分も含め、昨年度策定した「金沢らしい夜間景観整備計画」の中で、下新町でも照明実験を行っている。地元の皆さんや有識者からもお話をお聞きし、久保市乙剣宮の鳥居を照らして、それから暗がり坂の方に誘導するような明るさと暗さの好対照も踏まえ実験を行った。そう言いながらも、防犯の機能ということで安全・安心との両立という問題もあり、実際に整備する時には、昨年の整備計画の中でも、地元のご意見も聞きながら、歴史性なども勘案しながら、歴史的なまちの風情に合った照明を設置していこうという整理をさせていただいている。委員のご意見は、まさに昨年策定した計画の方向性と同じであり、今後より慎重な対応を取ってまいりたい。

（Ｃ委員）
　照明デザイナーは入れているのか。

（事務局）
　照明デザイナーの方にも入っていただいており、その場所に応じて、景観資源を生かしながら照らしていくというご意見を頂戴している。

（会　長）
　こんな時代であり、夜景観を大事にした方がいいというのは間違いない。それから、日本のまちは、夜に安心して歩けるので、夜景観を充実させるのはいいことだと思う。泊まる人も増えるだろうし、食べる人も増えるということで、基本的には非常に望ましい。
　また、金沢はエリアごとに非常に特徴があるので、ひたすら明るくするというだけではなく、暗いところもあれば明るいところもあるというように、エリアの特性をきちんと理解しながら行う方がいいのではないかということで、そういう歩みで調査し、明かりの在り方もそういうことで整理されてきている。今日、照明器具の報告があったが、基本的には照明器具よりも、明かりの在り方が重要なのではないかという議論もあった。また、Ｃ

委員から出ていた、各時代に合わせた照明も結構であるが、それは難しい面もあって、そういうものが明らかに重要視されているエリア、東山などだと比較的やりやすいが、そうではないところは現在の暮らし向きもあるので、その辺をどううまく調整するか。だから、言われているような認識は少なくとも持ちながら、進めていただいていると思っている。

（Ｃ委員）
　気になったのは東山のあたりである。

（会　長）
　現実的なものにして、ガス灯みたいな話にならないようにはしていきたいと思う。今日の報告で、現地で立ち会って、スケールなどをチェックしたという話があったが、そういうきめこまかさはぜひあってほしい。
　照明器具は基本的には結構ものが大きいが、ここなどは通りが 2m 強しかないとすると、そんな大きなものは絶対に要らない。それから、遮光板もひたすら同じものを設置するのではなく、調節できるもの設置することで場所に応じて対応するなど、そういうきめこまかさはぜひ頭に置きながら行っていただきたい。

（Ｄ委員）
　1 ページ目の①病院建て替え計画で病院の正面が出ているが、この右手はご存じのとおり長町の武家屋敷跡である。それからこの左手に小公園があるが、あの小公園もデザインされている。それから、お向かいの住宅にも歴史性があるという中で、一つ歴史性の特徴としては、土塀で囲われている中に建物があるという地域性であり、病院が非常に開放的に見えてしまうということについてどう考えているのか。
　また３ページの照明灯であるが、確かに先ほどＣ委員が指摘されたアルミの傘に裸電球が灯っているというレトロな感じは共感できるところはあるが、私が感じたのはそれとは少し違う。この照明灯はデザインされものであるが、電柱は単にコンクリートの柱が立っているだけで、不釣り合いであるとを感じた。
　それからもう一つ、4 ページであるが、ベージュ系の色といっても中央部の御影放水路表面部は白と黒のまだら模様であり、路側部のところはじゃみ石ということで、いずれもベージュ系で暖かみのある色調との説明であったが、この素材感の歴史的根拠は一体どこにあるのかということである。どこまでさかのぼるのか分からないが、私が子どものころは、道路といえば砂利道であった。今、砂利道を復元しろというのは無鉄砲であるが、砂利道のような自然な感じが重要なのかなと思う。だから、色がどうのこうのというよりも、歴史の根拠をどこに置くのかという配慮があってもいいのかなと思う。

（事務局）
　病院の建て替え計画の件であるが、先ほど会長からもあったとおり、この後、幾つか付

属建築物等と、外構についても土塀を入れた方がいいのか、入れない方がいいのかということで、今後議論を詰めることになっている。というのも、ここは確かに武家地で伝統のあるエリアではあるが、病院も間もなく100年が経つということである。非常に貴重な建物である礼拝堂があり、この間の歴史の重層性の中で、この病院のエリアを、周辺の場所と歴史性を異にする空間としてきちんと整備した方がよいのかなという思いもあり、今後有識者からもご意見いただきながら、事業者の方とも話を詰めさせていただきたい。

それから2点目の照明灯のデザインはよいが、電柱の共架ということで、電柱がいかにも合わないのではないかというご意見についてであるが、こちらの方は電線管理者と整理が付いておらず、取りあえずは電柱共架ということで、今回は夜見える光の明るさを、この場所に相応しいものにしていこうということで整理させていただいた。

（事務局）

続きまして、舗装材の色彩について、歴史的根拠性があった方がいいのではないかというご意見であったが、現在、金沢市の方で舗装材を決めるにあっては「地」の部分であり、あまり強く主張するものではないが、色の持つイメージ、例えば茶系、赤系のものであれば明るい、希望、暖かみ、古風などのイメージ、白や緑になると、自然、清潔感などのイメージがある。場所性に応じてその文脈に馴染んだ色彩のものを採用しているというのが一つの考え方である。

例えば、大野庄用水沿い、鞍月用水沿いでは、自然、清潔感をイメージするような白い石が入っている舗装材、それから緑系の石が入っているような舗装材。新橋などの川筋景観でもそういう色を採用している。それから、例えば、柿木畠などでは名前のとおり少し赤っぽい石が入っていたり、商店街系のところでは寒色系よりも暖色系を好むというところで、あまり強く主張しないけれども文脈は保つ。その中で歴史的な背景が一つあってもよいのではないかということで、そのようなことも踏まえながら進めていきたい。

（会　長）

長町の病院については、塀の取扱、それから先ほど述べた付属建築物など、今後また調整できるところも含めて、しっかり進めていきたいと思う。

（副会長）

生活インフラをしている立場上聞きたいのは、精力的に無電柱化をしておられる中にあって、まさにここの場所は伝統環境保存地域であり、しかも重伝建であるが、電線管理者、あるいは県、市などで無電柱化という議論が進められていることは確かであるが、こういうところが優先的にということはないのか。

（事務局）

この狭い細街路の集まった区域を全て無電柱化するというのは正直難しい部分があろう

かと思うが、区域内でも総合的な観点から無電柱化した方がよいという路線もあり、そういう路線は計画の中に入っている。全ての路線を無電柱化するということは非常に難しいと思っている。

（副会長）
　いわゆる金沢式の無電柱化ということで、裏に電柱を這わせていくということで、表の通りには電柱を見えないようにするというやり方も一つある。

（事務局）　メインの通りがある場合には、裏配線ということで、ひがし茶屋街などでもそういう手法を取り入れている。あるいは、既存のストックを生かして、既存の空いた管路を利用するということをしているが、当該地は全て細街路であり、表も裏もないという状況である。

（Ｃ委員）
　以前工大の土屋先生が、金沢市の街並みの建物の調査をされて、どの通りには明治のものが幾つ、大正、昭和初期など、年代がほとんど分かっている。そうすると、要は全てを行うのではなくて、金沢にとって重要な通りを意識的に考えるべきだと思う。私も先ほど少し言いかけたが、文学で有名なシーンは相当あって、そういうところはこれからもの大きなウエートを占めてくると思われ、そういう話も含めて考慮すべきだと思う。

（事務局）
　無電柱化については道路建設課の無電柱化推進室で検討委員会を設置し、どの路線から整備していくかということで､歴史的なことも踏まえて計画的に行っているところである。今年度中に計画路線の見直しがあるということも聞いているが、そういった中で計画的に対応しているということでご理解いただければ幸いである。

（会　長）
　金沢市の場合、横の関係は非常によくできていると思う。さらに良さを発揮するように努めていただきたい。

（副会長）
　現在、無電柱化のほか、企業局が水道や下水などの耐震化で、多くの掘削工事が行われている。長町の現場で修景舗装を行うということであるが、関係部局で連絡を密にとっていただき、手戻りがないようにお願いしたい。

（Ｅ委員）
　長町の病院の件で、まだこれから部会の方で論議をしていくという経過を聞いて安心し

たが、現在、入り口の方にも結構大きな看板がかかっている。この建物を新築した場合、看板がどうなるのか。本来の長町地区に相応しいイメージがこれから読み取れないので、その辺はどのように考えているのかということが一つ。

また、卯辰山麓地区の照明整備については、平成26年度から継続性を持ってやろうということを部会から聞いて安心した。共架する電柱についても細くしたり、色を付けたり、この町に相応しい工夫を、もう一度ご検討いただきたいと思う。

そのほか、先日長町の地区指定記念式典に行った。そこのまちづくり協議会の会長は、「自分たちの町は土と木だ。潤いのある空間に住んでいる。そんなまちづくりを進めたい。」と話されていた。この道路を、私は砂利道にしろとは言わないが、もう少し「土」というキーワードを生かした工夫ができなかったのか、お聞かせ願いたい。

（事務局）

まず、病院の看板の件については現在協議中である。看板については大きさ、高さなどのルールがあるが、それ以上に周辺の環境に調和するようにということでお願いしているところである。

それから、2 点目の夜間景観の方の電柱を細くする、あるいは彩色するということで、周辺環境と合うように工夫するということについては、今後、担当課とも調整させていただきながら、できるところについては工夫していきたいと考えている。

長町の舗装材を土に近いものにできなかったのかというご意見については、思想としては、色調を選ぶにあたり、長町景観地区の木色の建物との調和に配慮して、なおかつ、主張しないというところで茶系のものを選んでいる。そこには土系の色という意味も含まれていた。それをもう少し土のテイストに変えるということになると、維持管理性の問題もあり、色彩のコントロールにとどめているということでご理解願いたい。

（会　長）

ひととおり意見等は出尽くしたと思う。今日出た意見の中で、これからできることが結構あった。その辺の調整を図りながら、取り入れるものは今後きちんと対応していただくということで、基本的には全体的には了承ということでよろしいか。

（委員全員）

異議なし。

（2）景観サポーター、景観みまもりたい活動概要（報告）

～ 事務局より説明 ～

～景観みまもりたい(吉田氏)、景観サポーター(吉岡氏)より報告 ～

「新景観資源探訪、金沢駅西広場赤花さんぽ道誕生」

（委員全員）
（拍手）

（会　長）
今ほどの報告について、感想等ありましたらお願いしたいと思います。

（Ｆ委員）
広場の設計にも携わったが、そのように見ていただき、ポイントが伝わったかなというところは大変うれしく思う。どうもありがとうございます。宣伝していただければありがたい。
また、緑化については、住宅地中心に新しい家が建ったりしているが、新しい住宅でなかなか緑が増えないという状況がある。敷地内の緑化を広めていただければと思う。ありがとうございました。

（会　長）
景観というのは、われわれ専門の分野だけで議論していても、実際に反映できるかどうかという話が一方であって、一般の市民の人たちがその気になってくれないと、本当の景観ができていかないと思う。そういう意味では、このようにサポーターという形で一般の人が参加していただき、景観に対して理解を深めていただいたり、一般市民とのつなぎ役のようなものを果たしてくれることは非常にありがたい。それから、われわれが議論したことを一般の市民の目で見るとどのように見えるかということも把握でき、そういう意味でも非常にありがたい活動であり、ぜひさらに充実していっていただきたい。ありがとうございました。

⑷その他
①長町景観地区における金沢らしい夜間照明整備について
②屋上緑化に対する本市の景観的な考え方について
～ 事務局より説明 ～

（Ｄ委員）
7 ページの①暖かみのある灯りという写真を見て、土塀もこのような照明をすると、このように見えるのかという驚きがあるが、歴史という観点から見ると、屋根の上も照らしていただきたいというところがあるので、その辺もきめのこまかいご配慮をお願いしたい。

（副会長）

こういう微々細々にわたって景観をご検討されて、行動に移されておられるということに感服し、敬意を表したい。私もこういう委員会に出させていただいているので、景観を見ながら街を歩いたりするが、今日は国の方も県の方もいて、これほど微々細々に景観をご検討されていますが、例えば、橋台、橋脚に景観配慮という気持ちがあるのか、ないのか。あるいは、これからやらなければならないのか。

それから、堤防の上にパラペットがあるが、パラペットについても少し無粋なものがあり、土木構造物として反省しなければいけない。例えば浅野川大橋は、伝統環境を保存する中心的なところなので、ものすごく景観を考えていらっしゃるが、その両側のパラペットを見ていただくと、どうも景観に配慮されていないなと感じる。桜橋の橋台、あるいは、犀川大橋の上部工はアーチ、カーブ、プロムナードになっているが、下部工について、私自身を含めて皆さんが関心を払っているかどうか、心配になった。私はこれからサポーターやみまもりたいと一緒に勉強していこうと思っているが、社会インフラのところでも少しご関心を持って頂いて、金沢の伝統と文化にマッチしたような景観にいろいろご意見を賜ったらよいと思った。

（事務局）

今ほどの橋脚、橋台の表情ということであるが、例えば、海側幹線などで整備をするにあたっては、用水みちすじ部会の意見を聞いている。その際に、例えばあまりにも長大な面が出てくるときには、少し見え方を和らげるような化粧型枠などを使うということもあるし、海側幹線のときは田園景観の中にダイナミックなものがあることがよしとされるというような意見もある。人間が近くに寄るようなところでは分節化をするなり、見え方を和らげるような表情を付けるなりということも行っている。パラペットの話についても、少し無粋なところがあるかもしれないが、主計町あたりでは勾配屋根形状のパラペットを施工するなど、場所に応じて丁寧に審議しており、今後もそのようなことで進めていきたい。

（会　長）

土木関連のインフラというと、基本的にはほとんど公が関わっていると思うが、市の中で例えば今行っている建物部会のような形で、構築物に対して議論するような仕組みはどこかに入っているのか。

（事務局）

まさに用水みちすじ部会、斜面緑地保全部会で議論している。

構築物というと、他にどのようなものを想定してのことなのか。

（会　長）

例えば、新幹線の高架、高速道路の高架なども含まる。それから、道路に対する遮蔽物、

鉄道の遮蔽物などたくさんある。もっとそういう配慮ができる仕組みになっていけばよいと思うが、金沢市だけではなくて、全国的に対応できていない。ヨーロッパなどと比べると、随分その辺は無造作な気がする。例えば、御影大橋や駅西の55m道路など、特定の事業として動くときはそういう議論がきちんとできているが、一般のものまで全部それを反映しているかというとなかなかそうは思えないので、これは今後の非常に大きな課題だと思う。

今は建築と土木がつながるように一生懸命努力している。うまく土木的な分野で取り扱っているものも同じようなことができていくと、まち全体の雰囲気が良くなると思う。

6　閉会